

12月定例会の主な議案の採決

件名	議員名											採決結果		
	佐藤 永子(自)	長谷川 真也(未)	増田 秀雄(未)	福井 和義(チ)	吉田 俊一(共)	田口 義博(自)	高橋 昭男(自)	高野 祐大(チ)	平野 千穂(共)	砂川 清時(自)	松岡 高志(無)		村上 真由美(公)	川上 力(公)
【町長提出】														
議案第74号	松伏町教育委員会委員の任命について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第75号	個人情報の保護に関する法律施行条例	○	○	欠	○	●	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第77号	松伏町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	欠	○	●	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第79号	松伏町職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第81号	町道3号線道路改築工事(2工区)請負契約の変更契約締結について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第82号	町道の路線認定について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第83号	町道の路線の一部廃止について	●	○	欠	○	○	●	●	○	○	●	○	○	可決
議案第84号	令和4年度松伏町一般会計補正予算(第6号)	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第85号	令和4年度松伏町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第86号	令和4年度松伏町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第87号	令和4年度松伏町下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
【議員提出】														
発議第17号	健康保険証廃止とオンラインによる資格確認に反対する意見書	●	●	欠	●	○	●	●	●	◎	●	●	○	否決
発議第18号	インボイス制度の実施中止を求める意見書	●	●	欠	●	◎	●	●	●	○	●	●	●	否決
発議第19号	松伏町議会の個人情報の保護に関する条例	◎	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

(○=賛成、●=反対、退=退席、欠=欠席、◎=提出者)

(会派名) 自=自民クラブ、未=未来クラブ、公=公明党、共=日本共産党、チ=チェンジ松伏・無所属クラブ、無=無所属町民会議

町政に関する

一般質問の主題

一般質問の会議録全文は町のホームページから検索できます

村上 真由美

- 妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援の確立
- 子宮頸がんの予防
- 松伏町の災害時の対策強化

川上 力

- 道の駅と交通政策
- カレーの町で町興しの推進
- 犯罪の少ない町にするための地域防犯カメラの設置

田口 義博

- 町のPRと観光
- 小学校・中学校の校則

砂川 清時

- 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種状況
- 松伏町若者ワークショップの内容

福井 和義

- 不登校0をめざして

佐藤 永子

- 第6次総合振興計画
- 音楽による町づくり

長谷川 真也

- 自治会が行っている排水路清掃
- U字溝排水部分
- 集会所の運営
- 自主防災

高野 祐大

- 人口減少をストップするための松伏町のシティプロモーション戦略

平野 千穂

- 高齢者福祉タクシーの状況と地域公共交通政策の充実
- こども医療費助成制度の対象を18歳までに拡充し、子育てしやすい町に
- インボイス制度が実施された場合の、町・農業者・シルバー人材センター登録者などへの影響

吉田 俊一

- 負担を減らし高齢者が安心できる医療制度を国に求めよ
- 国の制度を活用して地域公共交通政策の充実を
- 学校給食の無償化を

10人の議員が町政を問う



むらかみ まゆみ
村上 真由美 (公明党)

Q 伴走型相談支援松伏町方式の確立

A 出産・子育て応援ギフトを支給

問 令和4年度の国の補正予算でスタート予定の伴走型相談支援と産前・産後の経済的支援について町では独自のメニューもあると認識しているがこういったものを整理、再構築する形で妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援の松伏町方式の確立について町の考えを伺う。

答 **すこやか子育て課長** 伴走型相談支援として3つの面談実施のタイミングが示された。新たに妊娠8か月前後にアンケートを実施し、希望者に面談を行う。また、相談支援にあわせて、出産・子育て応援ギフトを支給し、子育て支援サービスの利用者負担等の軽減につなげる。出産・子育て応援ギフトの支給形態については、今後、検討する。

問 子宮頸がん検診の受診率を上げるには動機付けが必要だ。現在定期接種として使用している2価や4価ワクチンは約70%を防ぐとされているが、令和5年4月1日から9価ワクチンを加えることになった。9価ワクチンは約90%の予防ができ

る。対象となる方へ周知をしたらどうか。町の考えを伺う。

答 **すこやか子育て課長** 9価ワクチンの接種を開始したら、その旨を個別通知において対象者へ周知する。また、町ホームページでも周知を行っていく。



厚生労働省HPから

かわかみ つとむ
川上 力 (公明党)

Q 交通政策二一ズ調査や協議の場を

A 来年度に設定の情報交換会で検討

問 道の駅は公共交通のバスターミナルとしてだけではなく、東秩父村の「やまびこおかえり便」のような公共交通を補完する交通サービスを併設実施していくことが重要である。それには地域公共交通計画の作成が必要であり、検討の場である地域公共交通会議も設置の時期だと考えるが町の見解を伺う。

答 **企画財政課長** バスターミナルを併設した道の駅を含め、公共交通を再構築していく場合や町内でデマンド型の乗り合いタクシーやバスといった新たな交通施策を導入する場合、地域公共交通計画の策定が必要となる。町では、民間事業者による既存の公共サービスを維持しつつ、新たな公共交通サービスを検討するため、来年度、公共交通事業者等との情報交換会を設定し、そこで二一ズ調査や法に基づく協議会の立ち上げなども検討する。

問 昨年、「松伏ふるさとカレーの日」制定を提案したが、その後の進捗について伺う。また、松伏町オリジナルのカレーメニューづくりに「メニュー

コンテスト」を実施してはどうか伺う。

答 **環境経済課長** 来年に松伏ふるさとカレーが5周年を迎えるので、新たな事業展開を検討している。「松伏ふるさとカレーの日」制定と、「メニューコンテスト」を含めた新規事業案を「カレーのまち推進会議」に提案し、検討・協議していく。



東秩父村の道の駅を基点に運行する「やまびこおかえり便」



たぐち よしひろ
田口 義博 (自民クラブ)

Q 学校の校則HPなどで公開を

A 公開していきたい

問 町内小中学校において校則の相違点はあるのか。
答 **教育総務課長** 教育目標を実現していく過程において、順守すべき学習上、生活上の規律として定められている。一律の内容ではないが、教育的意義に相違点はない。

問 保護者からの校則に関し、意見要望は。
答 **教育総務課長** 校則そのものに意見等はない。規則にとらわれ、守らせることのみ指導にならないよう校長会等で指導していく。

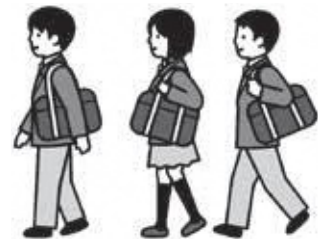
問 中学校での制服の取り扱いに、町の考えは。
答 **教育総務課長** 制服着用の賛否については世論も分かれている。国や県の動向を注視しながら、制服着用の必要性について調査研究していく。

問 国では、校則の公開について議論している。教育長の考えは。制服についてもどうか。
答 **教育長** 社会的に校則の見直し時期にある。児

童生徒の考えや保護者、地域も巻き込んで校則を作る。その中で作った校則は公開していきたい。校則の運用は、児童生徒と教師の信頼関係が大切。明るく楽しく学べる学校になってほしいと願っている。制服は見直しが進められているので問題ない。

問 道の駅を拠点とした町のPR・観光について、町の計画は。

答 **新市街地整備課長** 道の駅・バスターミナル整備計画は、県道越谷野田線、豊橋まで東埼玉道路一般部が延伸された後、交通量調査を行い検討する。



すながわ きよとき
砂川 清時 (自民クラブ)

Q 高校生が住み続けたい町を討論

A 次期総合振興計画に反映検討する

問 高校生が討論「ずっと住み続けたいと思える松伏町」町の評価を問う。

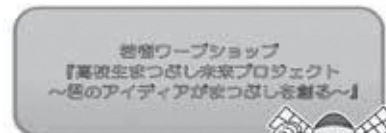
答 **企画財政課長** 高校生からは、教育の充実、イベントの実施、農業との連携、交通・道路整備、企業誘致等の意見が出され、同時に、遊ぶところがない、飲食店がない、地域交流がない、交通が不便という意見が出た。町は、このような意見を第6次総合振興計画に盛り込めるよう検討する。

答 **町長** 町は、町民意識調査として、高校生の他、18歳以上の町民1,500人、中学生、子育て世帯、転入者・転出者対象へのアンケートを実施し、それらの意見を重要視しながら、住み続けたい町をつくらせていきたい。

問 新型コロナウイルスワクチン接種記録の保存期間を問う。

答 **すこやか子育て課長** 予防接種法施行令の定める保存期間は5年であり、現時点では、町は法令に従う。他自治体では、小平市で30年、我孫子市

で10年としており、新型コロナウイルスワクチン接種後、10年、20年後にワクチン接種を起因とする健康被害が発生する事態に備えての措置と考えている。町においても、ワクチン接種記録の保存期間について、国・県・近隣市町の動向を注視していく。





ふくい
福井

かずよし
和義

(チェンジ松伏・無所属クラブ)

Q 不登校〇をめざして

A 不登校は町の最重要課題と認識

問 子どもが1番好きなのは、お父さん、お母さん。2番は学校。調子よくなったので、明日は学校に行けるよ、お母さん。今朝は、いつもより早く起き、ご飯も食べ、さあ、学校に行こう。しかし、登校時間になると、急におなかが痛くなりトイレに行く。なかなかトイレから出てこない。結局、今日も休むことになった。そして、登校時間帯の終わる9時頃になると治るのだ。これは仮病ではない。不登校の初期症状なのである。少子化により、児童・生徒数は減少しているが、全国の小・中学校の不登校者数は約24.5万人いる。不登校者数を減少させるのには、一人一人の児童・生徒が孤立しないで、多様な個性を認め合える学校生活が必要である。不登校について、どのような認識をもっているか。

答 **教育総務課長** 不登校とは、心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因により、児童・生徒が登校しない、したくてもできない状況にあることと

認識している。当町においても、不登校の児童・生徒の発生率は増加しており、町の最重要課題と認識している。



地域の教育力を生かした子供体験活動



さとう
佐藤

えいこ
永子

(自民クラブ)

Q 第6次総振に横田地区の見直しを

A 住民の話合いと合意で進めていく

問 第6次総合振興計画は令和6年度を始期とする。人口減少と高齢化が進む中、住民への公共サービスの質を落とさず、積極的な施策が期待される。

答 **企画財政課長** 10年後の人口は2万5千人程度まで減少すると推計している。転出を抑制し転入を増やす施策として、子育て支援の強化、職住近接働く場の確保、企業誘致の施策が必要となる。

問 土地利用の活用は重要である。上赤岩の横田地区は第5次総振の総合振興計画の審議会の答申にも上赤岩地区の位置づけは町民等の意見を踏まえて変更も含めて、慎重に検討すること。人口の達成と職住近接と雇用の安定を考慮して決定することに対して第5次総振に入れなかった理由は。

答 **町長** 時期尚早と判断して、第6次総合振興計画をつくるまでに、住民の方々と話合いを持って、合意して進めていきたい。

問 田園ホール・エローラは町政20周年を記念して建設し、文化芸術の振興と向上を図る拠点として、又音楽によるまちづくりをすすめてきた取組は。

答 **教育文化振興課長** 田園ホール・エローラを拠点として、各種文化事業を進めている。音楽の専門家などで構成するエローラ運営委員会を主体として、運営委員の意見を取り入れて、事業の企画立案を行っている。



松伏町総合振興計画審議会の様子



は せ が わ し ん や
長谷川 真也 (未来クラブ)

Q 排水路清掃の業者委託費用は

A 概算費用を算出することは困難

問 今後工業団地などで収益が上がった場合、排水路清掃の委託も検討出来ないか。

答 **まちづくり整備課長** 産業団地建設後、財政状況を見極めながら、排水路維持管理については、自治会等々連携しながら、適切で効果的な維持管理に努めてまいりたいと考える。

答 **町長** 行政と地域とが連携して、地域の排水路掃除をしていきたいと思う。危険な場所等は、行政等でしっかりと補っていきたいと思っている。

問 自主防災組織のマンネリ化を打破するには、みんなが楽しんで参加（参画）できる身近なイベントを企画・推進する必要があると考える。防災訓練（起震車）など町でも企画できないか。

答 **総務課長** お子さんを取り入れた防災訓練を実施したいのだがどういったものがあるのか、有効的、効果的なのかなど、防災訓練を実施する上で苦慮されていることがあれば遠慮なくご相談いただき、自主防災組織と連携した防災訓練の実施に向けて取り組んでまいりたいと考えている。

問 U字溝の劣化を見つけるのは大変だ。ホームページや広報紙に画像を載せて町民に周知し、危険箇所の早期発見をするべきと思うが町の見解を問う。

答 **まちづくり整備課長** ホームページや広報紙に加えて、マップメールでの広報も検討して、対応していきたい。



危険なU字溝見つけたら役場に



たかの まさひろ
高野 祐大 (チェンジ松伏・無所属クラブ)

Q 推進検討委員会を設けては

A 提案を受け止めて進めていきたい

問 シティプロモーションに関し、町長はどう認識を持っているのか。この結果、状況をどう思うか。

答 **町長** それぞれの課がどのような形でプロモーションを、少しずつではあるけれども、近年、頑張っているなど私は認知しているところ。例えば今後、道の駅なりできれば、もっとそこを中心とした松伏町の認知度が上がるものと認識している。

問 立川市のシティプロモーション戦略は、各課の日常業務の中で、シティプロモーションの題材になるものを探してやっていく。推進体制として、シティプロモーションの推進検討委員会を設けているそう。今の答弁で分かったとおり、やはり、目標が違う、ターゲットが違う。何を誰に伝えるのかということところが、各々シティプロモーションという漠然としたワードで語られてしまうと、各課分かっていないというのがある。そこをやはり、明確にしていく必要がある。立川市は、シティプロモーションのターゲットとして、25歳から39

歳前後の女性に向けて、今までにない切り口で、シティプロモーションを進めているそう。こうした定住人口、交流人口を増やすためにも、ターゲットを設定し、何をどう伝えていくのかを整理する機関を役場の中でつくっては如何か。

答 **町長** 高野議員からの提案を、貴重に受け止めて進めていきたいと思っている。

埼玉県 市町村魅力度ランキング (2022年)

順位	市町村	点数
1 (1) -	川越市	22.4
2 (3) ↑	さいたま市	18.4
3 (2) ↓	秩父市	18.2
4 (4) -	所沢市	16.2
⋮		
39 (42) ↑	松伏町	2.6
40 (36) ↓	坂戸市	2.2
40 (38) ↓	北本市	2.2
42 (41) ↓	白岡市	1.7

※ () 内は去年の順位 出典：ブランド総合研究所



ひらの ちほ
平野 千穂 (日本共産党)

Q 子ども医療費、18歳まで助成を

A 財政状況を踏まえると拡充は困難

問 子ども医療費を18歳まで助成する自治体が大幅に増えている。埼玉県内（63市町村）のうち入院費助成は39、その内通院費助成も行う自治体が30。近隣では、春日部市、草加市が入院費を助成している。当町で実施した場合の対象人数と予算は。

答 **すこやか子育て課長** 現在、中学校卒業までの子どもを対象としているが、18歳まで拡充した場合約850人増え、入院費負担額は約40万円、通院費も含めると約2,000万円と試算している。当町の財政状況を踏まえると拡充は大変難しい。

問 インボイス制度が来年10月から導入された場合、シルバー人材センターには約1,300万円（経過措置3年間は約260万円）の消費税が新たにかかるが、会員高齢者一人一人が課税事業者となることは実質的に難しい。シルバー人材センターが事務手数料の増額で対応することも考えられるが、町などが同額で契約をした場合、会員の働く時間の削減となり、結果的に手取額が減りかねない。

答 **町長** 町全体の清掃活動に協力いただき、安価な値段でしていただいていることに感謝している。最低賃金を下回らない契約が今後大事になる。現在、仕事量に対してシルバーの人たちの仕事が間に合わない、危険な仕事はできないというところもあると思っている。時間は、健康を害しない程度での労働ということも必要。



よしだ しゅんいち
吉田 俊一 (日本共産党)

Q 給食の無償化を目指せないか

A 実施市町を調査・研究していく

問 滑川町では2011年から給食費の無償化、18歳まで医療費無料化など先進的な子育て支援策が取り組まれてきた。特殊合計出生率で県内トップになり、人口も増加している。新型コロナ関連予算を除くと約60億円の財政規模で約1億円の予算を投入している。松伏町で実施するにはどのくらいの予算が必要か。

答 **教育総務課長** 給食費の中で、教職員等を除いた児童・生徒からの給食費は約9800万円。

問 群馬県では35市町村のうち20市町村が給食費の無償化や助成を実施。埼玉県でも5市町村で完全無償化、15市町村が一部助成を実施している。無償化を目指すことについて、教育委員会、教育長はどのように考えているか。

答 **教育長** 私は義務教育9年間、子どもたちが完全に無償の給食を食べるのではなく、一部でもよいから保護者が負担して食べるほうが、教育的な視点、食育の観点から望ましいと考えている。しか

し、経済格差、少子化、人口問題は喫緊の課題。3つの小学校、2つの中学校を維持するには、子育て世帯数を維持していく必要がある。出生率を上げ、子育てをしたいと思える町にする上で、給食費の減免は大変有効な施策の一つだと考える。給食費の無償化や一部減免を行う県内の市町を十分調査・研究し、町長とも検討していく。

埼玉県内 小中学校の給食費無償化・減免の実施状況

全額無償化	滑川町（町外の就学も含む）、東秩父村、小鹿野町、美里町、神川町
2人以上在籍 第2子以降は無料	横瀬町
第2子 半額 第3子以降は無料	幸手市
第3子以降 無料	戸田市、坂戸市、小川町、寄居町、行田市、久喜市、上尾市、熊谷市、春日部市（条件あり）
3人以上在籍 第3子から	ときがわ町
3人以上就学 年少2人以外を免除	皆野町
第3子 半額	越生町
給食費の一部を 補助・助成	秩父市（45%を助成）、長瀨町、吉見町（アレルギード替食・持参者 半額補助）